

# 岩本の 妙法天狗

岩本実相寺の山門をくぐると、左側に妙法堂と呼ばれる小さなお堂があります。今回は、この妙法堂に伝わるお話を岩本上町の影山茂夫さんに教えていただきました。

## 伝わっているいろいろな話

この妙法堂には、昔からたくさんのお話があります。

子供が生まれたら赤飯をすのこに盛って供えます。そして、白紙に赤い梅を染めてその紙を御堂の横にあるさるすべりの木に結びとその赤ちゃん健康になるといわれています。春の節句のころは、成人した者が幼いころ、

昭和六十一年五月五日号



祝ったひな人形を持ち寄り御堂に供えて成長を感謝しました。

また、いぼ瘡神様とも呼ばれ、びん天然痘の蔓延したときにその治療を祈願したともいわれます。

## 一時に千里を走る天狗

いろいろな話が伝わっていますが、妙法堂は妙心と法心という兄弟の天狗をまつています。この天狗は妙法一神といわれ、足と手の神様で、一時に千里(約四千キロメートル)走る力をもっていました。足や手の病気に悩む人は祈願すると治るといわれています。

## 毎年四月にマラソン大会

影山さんは、老朽化した妙法堂を地域の有志とともに昭和五十一年に補修しました。それを機会に、地域の子供たちを集めマラソン大会を始めました。

影山さんは「子供たちが妙法天狗のご利益で足が走くなるといいね。お参りに来る人も

よくいますよ」と語ってくれました。

